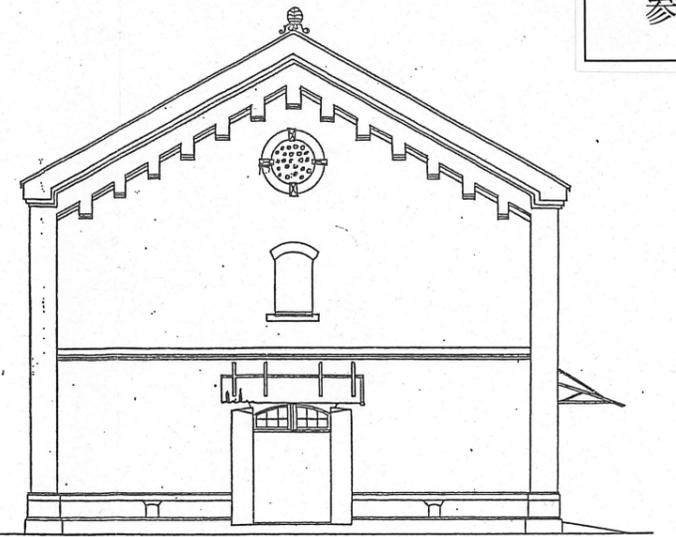
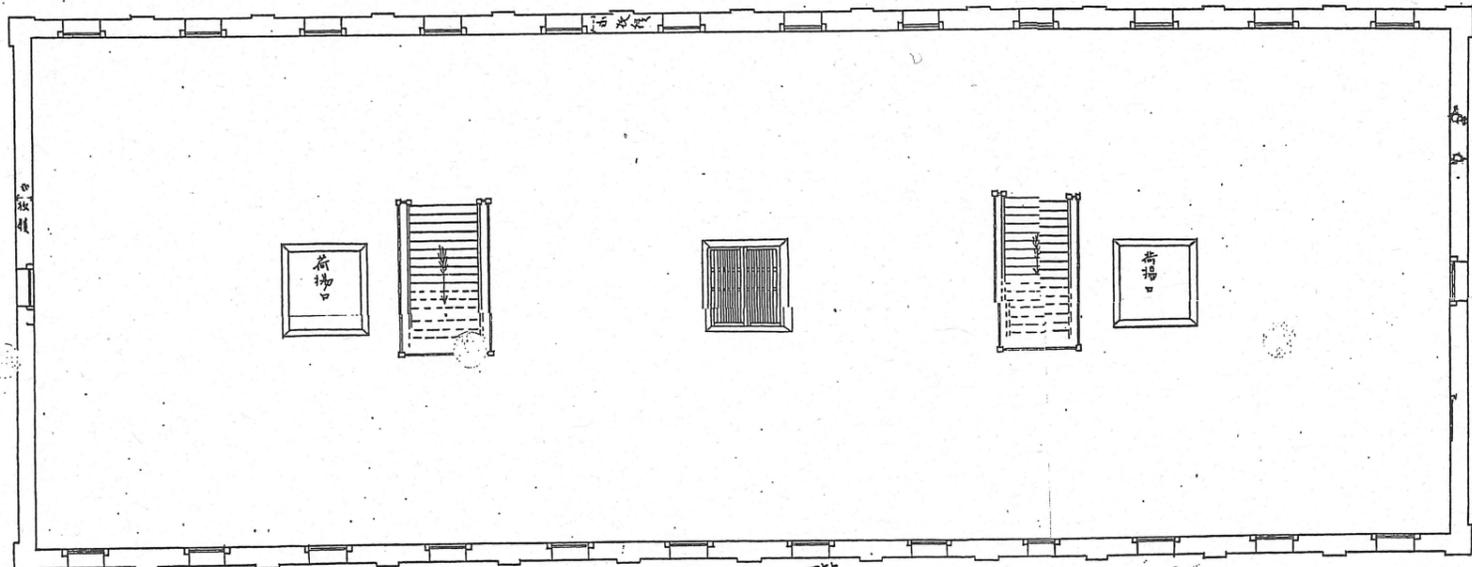


面断间梁

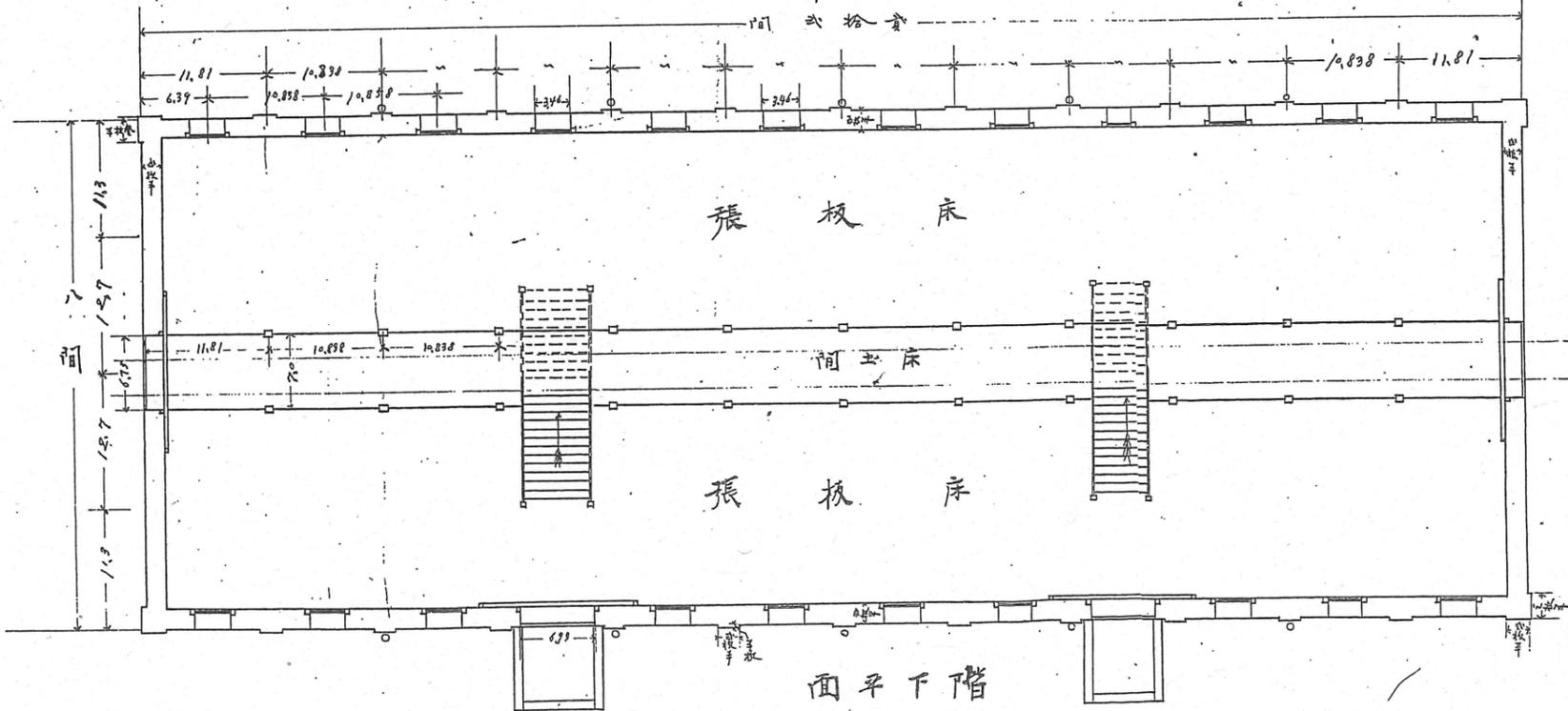
面正



面侧



面平上階



面平下階

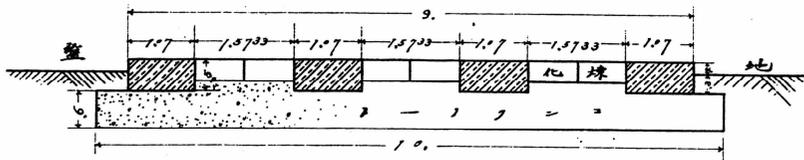
武庫内第...  
 舞鶴鎮守府需品庫  
 需品庫新築之平面  
 縮尺百分之壹

○ 是植位置

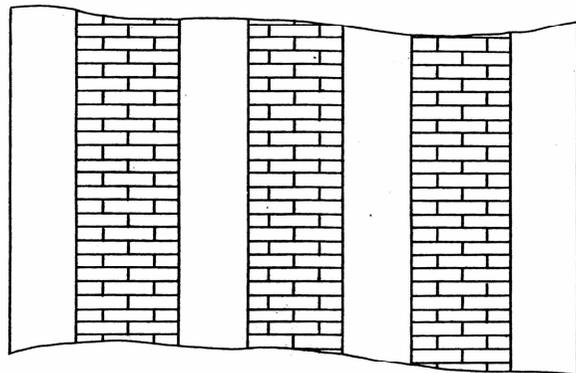




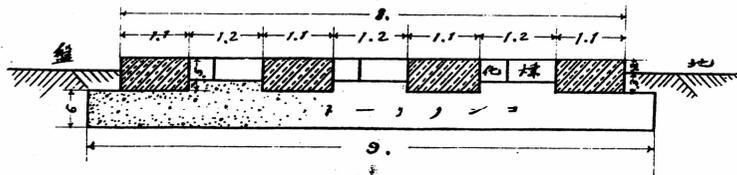
面断志号甲。



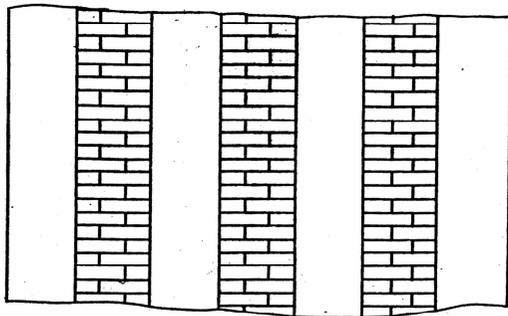
面平志号甲。



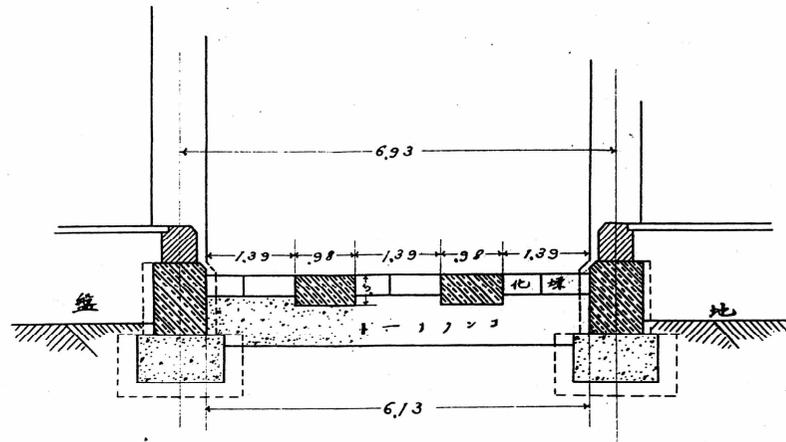
面断志号乙。



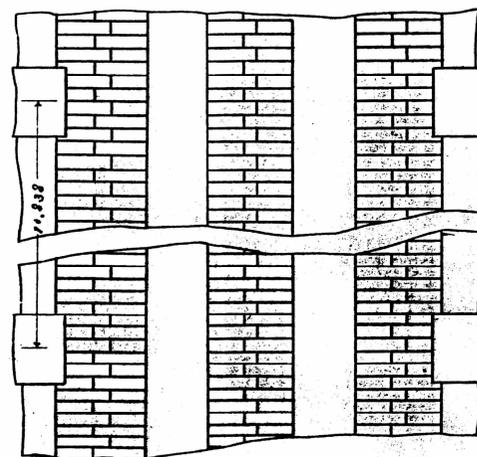
面平志号乙。



面断志号丙。



面平志号丙。

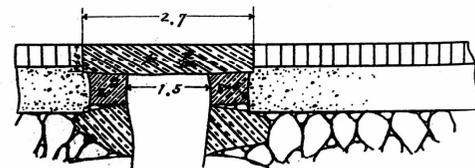


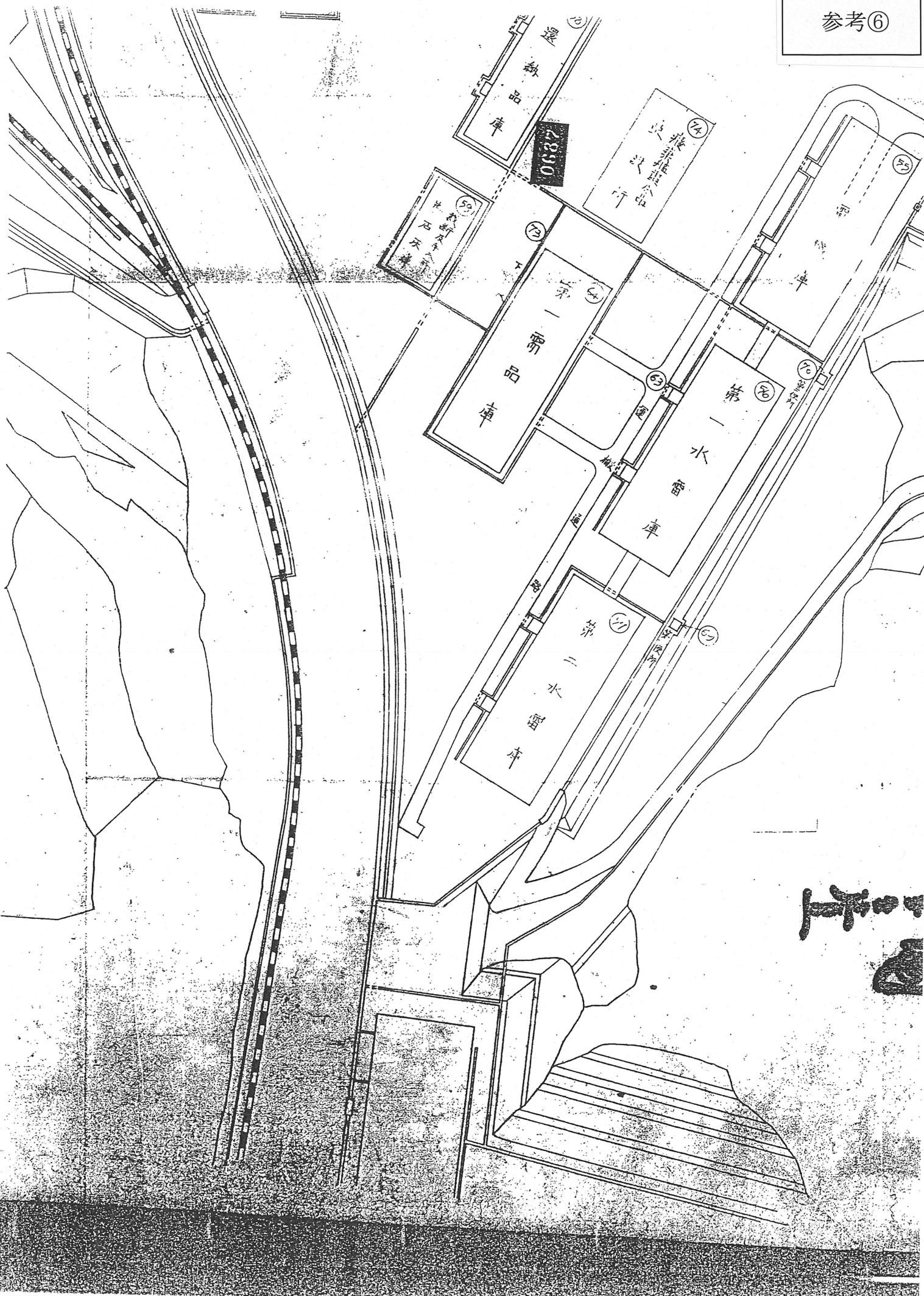
備考  
甲乙丙各号  
或埋築地片  
割裂五橋トス  
其他志号ト是  
ニ事ナシ

舜鶴海軍需品庫物品運搬通路之裔  
縮尺貳拾分ノ志

參事内武  
田原  
分庫

蓋石水下



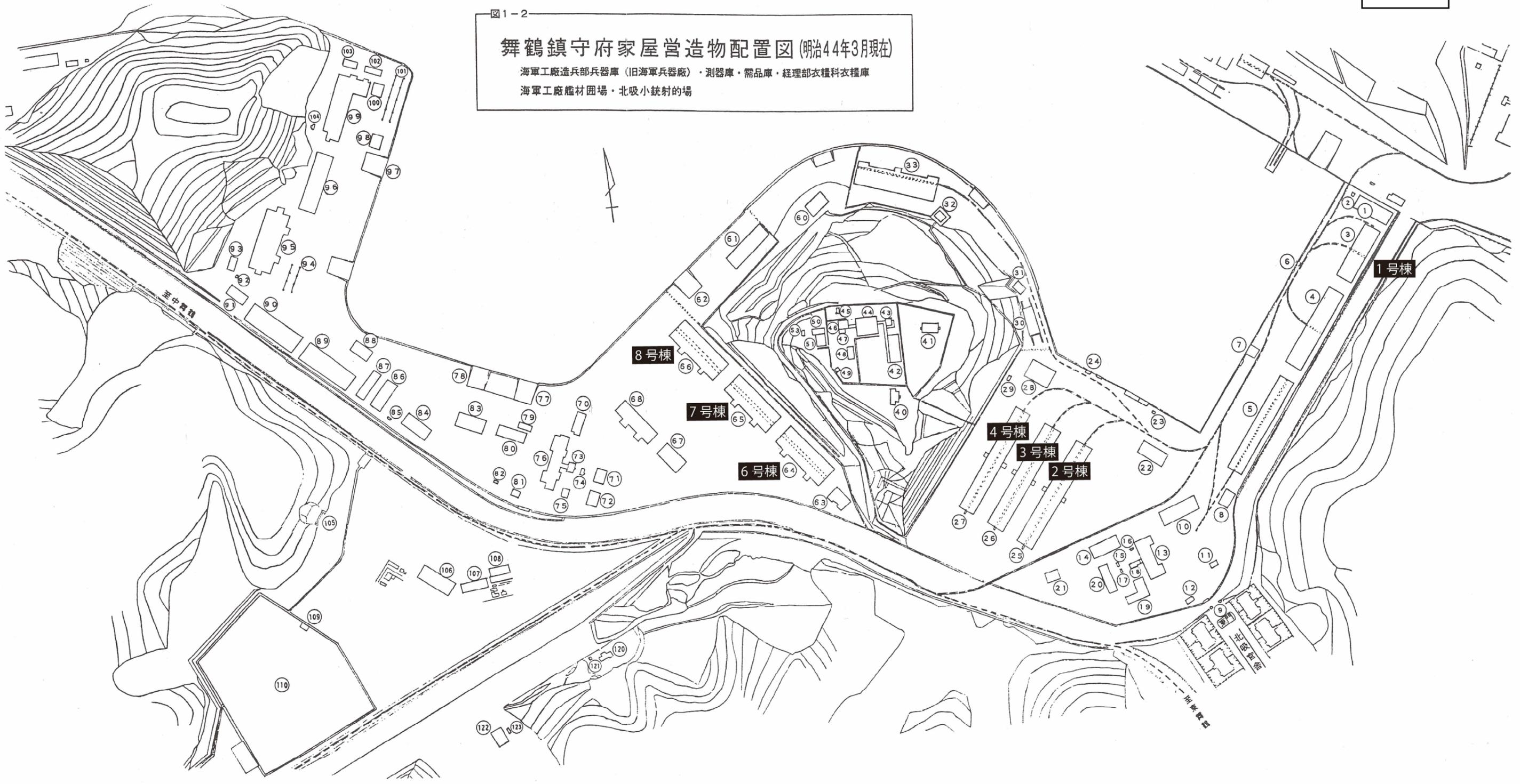


第一水踏庫

図1-2

### 舞鶴鎮守府家屋營造物配置図(明治44年3月現在)

海軍工廠造兵部兵器庫(旧海軍兵器廠)・測器庫・需品庫・經理部衣糧科衣糧庫  
海軍工廠艦材困場・北吸小銃射の場



#### 【施設一覧】

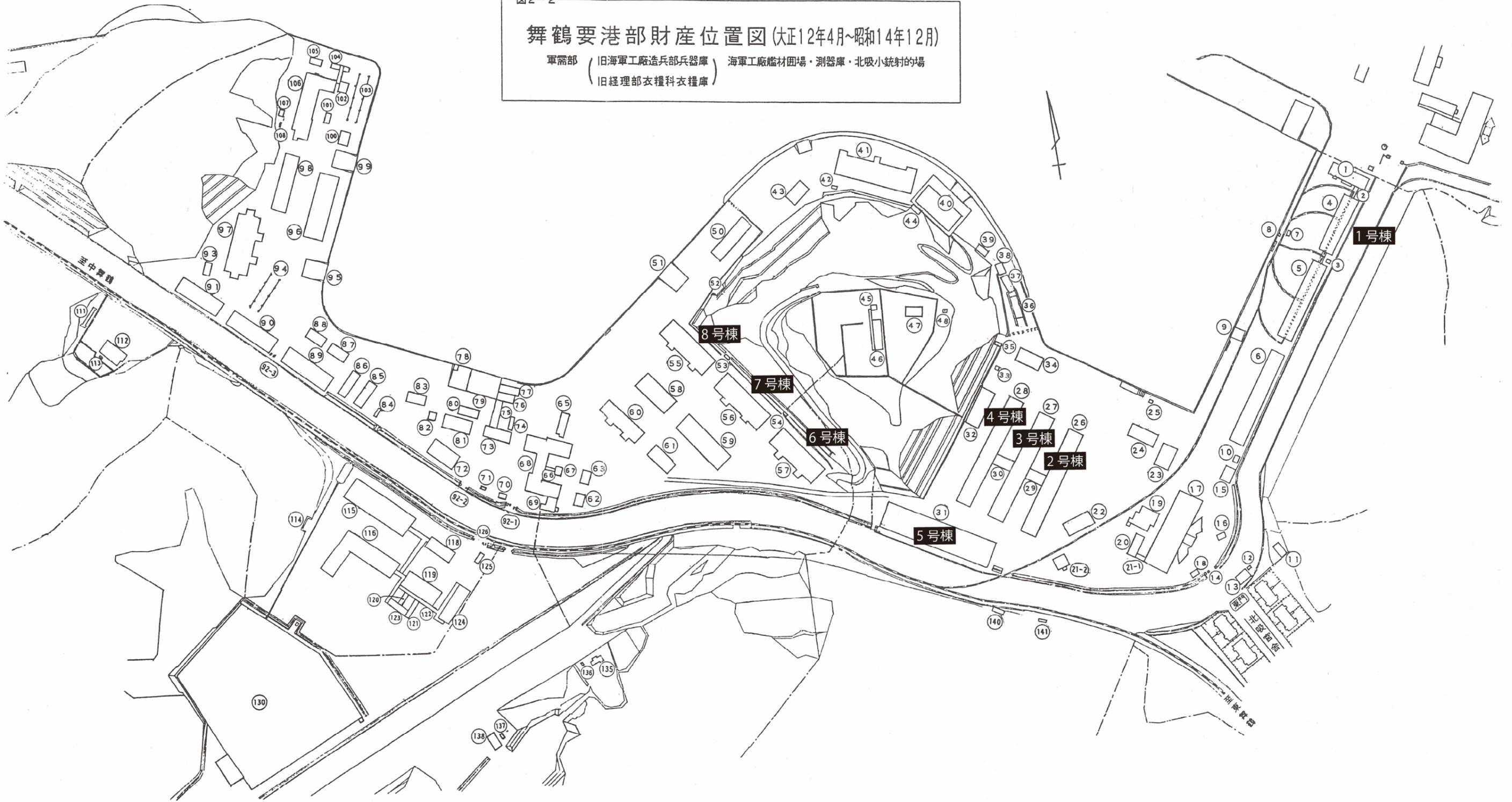
- 1: 格納庫 2: 便所 3: 第二水雷庫 4: 第一水雷庫 5: 大砲庫 6・7: 起重機 8: 発電所 9: 衛兵所(東門) 10: 水雷出納事務所 11: 倉庫 12 倉庫 13: 兵器庫庁舎 14: 兵器入手所 15~17: 便所 18: 渡廊下・便所
- 19: 便丁詰所・湯沸場 20: 第二物置 21: 第一物置 22: 砲銃出納事務所 23: 守衛所 24: 起重機 25: 第二砲銃要具庫 26: 弾丸庫 27: 第一砲銃要具庫 28: 運搬要具庫 29: 便所 30: 電纜格納池 31: 電纜試験場 32: 油庫
- 33: 第二電纜格納池 40: 羅針室 41: 経線儀及子午環室 42: 倉庫 43: 測量士・採風士詰付所 44 文庫庁舎 45: 守衛所 46: 湯沸所 47: 便所 48: 物置 49: 油庫 50: 車庫 51: 細工場 53: 便所 60: 塗庫 61: 油庫 62: 物揚場
- 63: 塗具庫 64~66: 需品倉庫 67: 薪炭並石炭庫 68: 還納品庫 70: 使丁詰室・湯沸所 71・72: 物置 73・74: 便所 75: 商人詰所 76: 需品庫・衣糧科庁舎 77・78: 物揚場 79: 食糧品受渡所 80: 物品受渡所 81: 門衛所 82: 便所
- 83: 物品検査場 84: 雑品庫 85: 便所 86: 被服裁断所 87: 需品入手所 88: 還納被服庫 89・90: 被服庫 91: 還納被服庫 92: 便所 93: 火酒庫 94: 物干 95: 罐詰庫 96: 乾麵包庫 97: 物揚場 98: 事業場 99: 麵包製造所
- 100: 被服洗濯場 101: 物干 102: 被服洗濯所 103: 冷蔵庫附属機械室 104: 便所 105: 揮発油庫 106: 標の入手所 109: 給水口 110: 艦材困場 120: 射的場番所 121: 番舎湯沸場 122: 休憩所 123 第一便所

※舞鶴市立赤れんが博物館『赤れんがレポート』3号より(一部加筆)

図2-2

### 舞鶴要港部財産位置図(大正12年4月~昭和14年12月)

軍需部 (旧海軍工廠造兵部兵器庫) 海軍工廠艦材囤場・測器庫・北吸小銃射の場  
(旧経理部衣糧科衣糧庫)



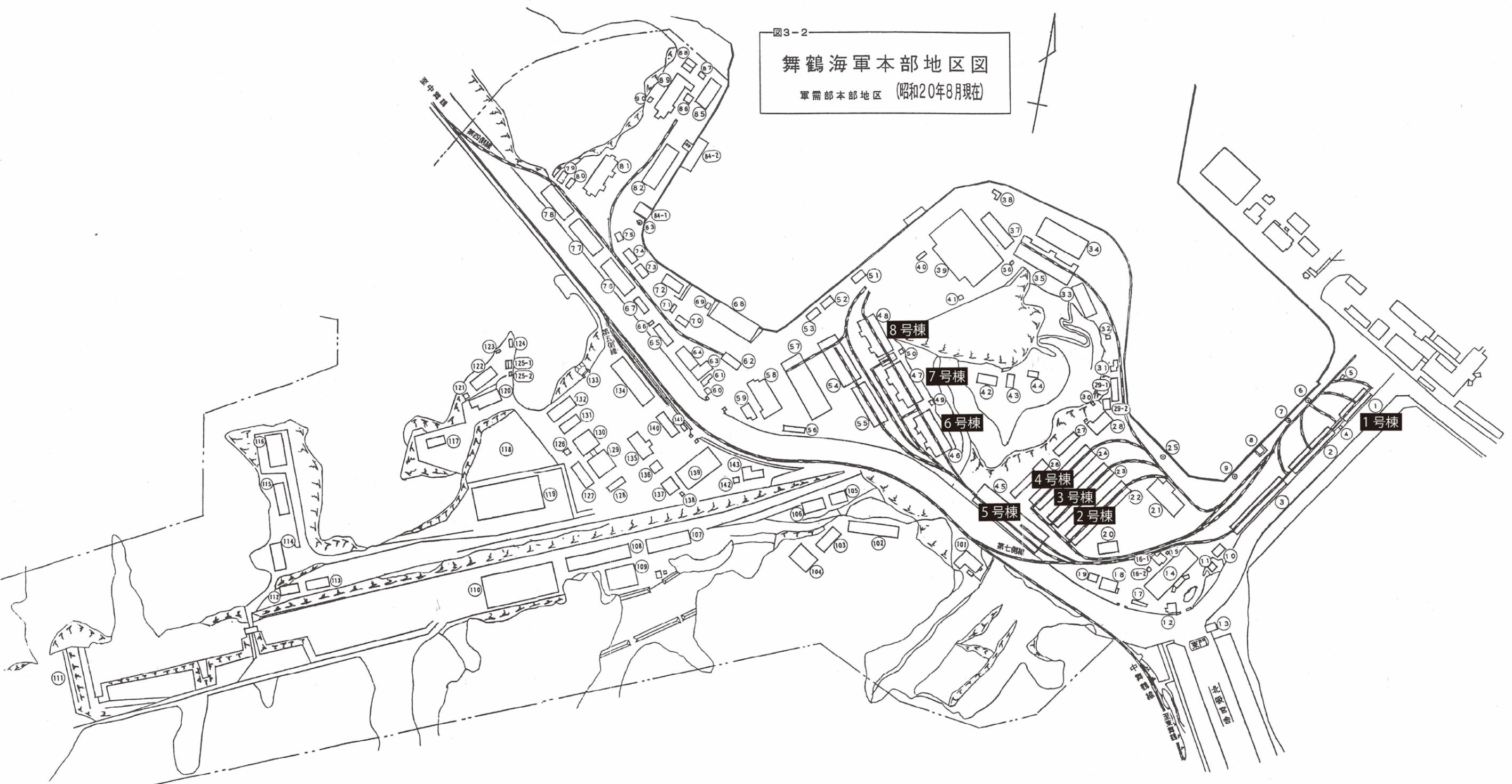
#### 【施設一覧】(一部抜粋)

- 1: 掃海具庫 2: 廊下 3: 便所 4: 装備庫 5: 機雷庫 6: 大砲庫 7: 棧〇〇走〇洗濯場 8・9: 起重機 10: 第三物置 11: 配電所 12: 便所 13: 番兵詰所 14: 門(軍需部) 15: 金工場 16: 第一火工品庫 17: 庁舎(軍需部)  
 18: 門衛所 19: 汽罐場 20: 傭人詰所並物置 21-1: 渡廊下 21-2: 第一物置 22: 第二損品廃品庫 23: 機雷庫 24: 兵器出納事務所 25: 見張所 26: 第三砲銃庫 27: 第二砲銃庫 28: 第一砲銃庫 29・30: 渡廊下 31: 第三水雷庫  
 32: 第一損品廃品庫 33: 第三便所 34: 木工場 35: 第一硫酸庫 36: 第二電纜格納池 37・38: 電纜試験所 39: 物品置場 40: 飛行機倉庫 41: 第一電纜池 42: 第二硫酸庫 43: 倉庫 44: 第四便所 45: 第二倉庫 46: 第一倉庫  
 47: 経線儀及子午環所 48: 定儀試験台 50: 油庫 51: 第五物揚場 52: 第一揮発油庫 53: 第六便所 54: 第五便所 55: 電機庫 56: 第一水雷庫 57: 第二水雷庫 58: 標的入手所 59: 第一需品庫 60: 還納品庫 61: 仮兵舎・塗具庫  
 62: 第一物置 63: 清算所並雇員休憩所 65: 使丁詰所・湯沸所 66: 渡廊下 67: 便所 68: 庁舎 70: 門衛所 71: 第二便所 72: 通常物品倉庫 73: 物品置所 74: 第二物置 75: 渡廊下 76: 第四物揚場 77: 上家 78: 第三物揚場  
 79: 第六物揚場 80: 荷解場 81: 物品検査場 82: 第一自動車庫 83: 第二自動車庫 84: 第四便所 85: 第二米麦庫 86: 第一米麦庫 87: 還納被服庫 88: 被服入手所 89: 第二被服庫 90: 第一被服庫 91: 第三被服庫 92-1: 門  
 92-2: 通用門 92-3: 第一通用門 93: 雑品庫 94: 第二物干 95: 第二物揚場 96: 第四被服庫 97: 罐詰庫 98: 乾麵包庫 99: 第一物揚場 100: 事業場 102: 第二洗濯場 103: 第一物干 104: 第一洗濯場 105: 冷蔵庫及機械場  
 106: 麵包製造所 107: 木炭置場 108: 第三便所 111: 菌完液沸場 112: 鉄管試験場 113: 便所 114: 第二揮発油庫 115: 被服倉庫 116: 被服裁縫工場 118: 梱包所 119: 職工休憩所 120・121・122: 渡廊下 123: 便所  
 124: 事務所兼男傭人詰所 125: 守衛詰所 126: 門 130: 艦材囤場 135: 射の場番舎 136: 番舎湯沸所 137: 第一便所 138: 休憩所 140: 第二休憩所 141: 第三便所

図3-2

# 舞鶴海軍本部地区図

軍需部本部地区 (昭和20年8月現在)



## 【施設一覧】

- 1: 装備庫 2: 機雷庫 3: 大砲庫 4: 便所 5: 守衛見張所 6: 3トン人力捲揚機 7: 2トン人力捲揚機 8: 25トン電動起重機 9: 3トン電動起重機 10: 書類庫 11: 奉安庫 12: 守衛詰所 13: 衛兵所 (東門) 14: 庁舎 (軍需部)  
 15: トランス室 16-1: 配電所仮汽罐場 16-2: 湯沸場 17: 自転車置場 18: 第一仮自転車庫 19: 消防自動車庫 20: 第二損品廃品庫 21: 雇員休憩所兼傭人詰所 22: 第三砲銃庫 23: 第二砲銃庫 24: 第一砲銃庫 25: 10トン電動起重機  
 26: 第一古箱仮置場 27: 第一損品廃品庫 28: 舟艇員作業所 29-1: 第二電纜格納池 29-2: パルプ製作所 30: 第一硫酸庫 31: 電纜試験場 32: 物品置場 33: 防毒兵器庫 34: 第五仮格納庫 35: 第一電纜格納池 36: 第二硫酸庫  
 37: 魚雷調整場・附属屋 38: 第二見張所 39: 魚雷調整場 40: 魚雷調整場附属守衛所 41: 魚雷調整場附属便所 42: 第二古箱仮置場 43: 第一倉庫 44: 経線儀及子午環所 45: 第三水雷庫 46: 第二水雷庫 47: 第一水雷庫 48: 電機庫  
 49: 第五便所 50: 第六便所 51: 兵器入手場兼仮事務所 52: 物置 53: 湯沸場 54: 電機兵器庫 55: 第二電機庫 56: 第十五仮自転車置場 57: 第二砲術科兵器庫 58: 光学兵器庫 59: 便所兼浴場 60: 守衛詰所 62: 第二通常物品庫  
 63・64: 通常物品倉庫 (需品物品庫) 65: 自動車庫 66: 第四便所 67: 自転車置場 68: 物揚場 69: 哨所 70: 第二自動車庫 71: 第二便所 72: 貯藏品格納庫 73: 還納品格納庫 74: 被服入手所 75: 標的入手所 76: 第六需品庫  
 77: 第五需品庫 78: 第四需品庫 79: 危険物倉庫 80: 雑品庫 81: 第二需品庫 82: 第一需品庫 83: 5トン電動起重機 84-1: 物揚場 84-2: 需品供給棧橋 85: 油庫 86: 第二洗濯所 87: 第一洗濯所 88: 冷蔵庫兼機械場 89: 麵包製造所  
 90: 第三便所 101: 仮倉庫 102: 第五仮需品庫 103: 第四仮需品庫 104: 第三仮需品庫 105: 第十九仮需品庫 106: 仮自動車部品庫 107: 第十二需品庫 (第四燃料倉庫) 108: 第十一需品庫 (第二燃料倉庫) 109: 第三燃料倉庫  
 110: 第十需品庫 (第一燃料倉庫) 111: 射架・看的壕 112: 第七仮需品庫 113: 第六仮需品庫 114: 第八仮需品庫 115: 庁舎 116: 第一危険物倉庫 117: 潤滑油清浄所 118: 艦材囲場 119: 第九需品庫 120: 試験所 121: 九号物置  
 122: 木炭仮置場・廃材処理場 123: 十一号仮塵溜場 124: 八号塵焼場 125-1: 七号塵焼場 125-2: 十号松根油上家 126: 第七便所 127: 電器修理工場及材料倉庫 128: 仮材料置場兼作業場 129: 兵器修理工場 (金工) 130: 兵器修理工場 (大工)  
 131: 四号倉庫 132: 五号裁断室 133: 揮発油庫 134: 被服倉庫 135: 職工休憩所 136: 事務所兼傭人詰所 137: 航海兵器入手所 138: 航海兵器庫附属便所 139: 航海兵器庫 140: 梱包所 141: 守衛詰所 142: 瓦斯充填所 143: 油庫及塗具倉庫

※舞鶴市立赤れんが博物館『赤れんがリポート』3号より (一部加筆)



1 要港部時代（大正12年～昭和14年頃）の絵葉書 5号棟を南西から望む



2 5号棟南東から望む（右手2号棟、中3号棟）



3 2と同時期の写真（右から2号・3号・4号・5号棟）



4 3号棟、4号棟を南東から望む



5 2号棟を東から望む



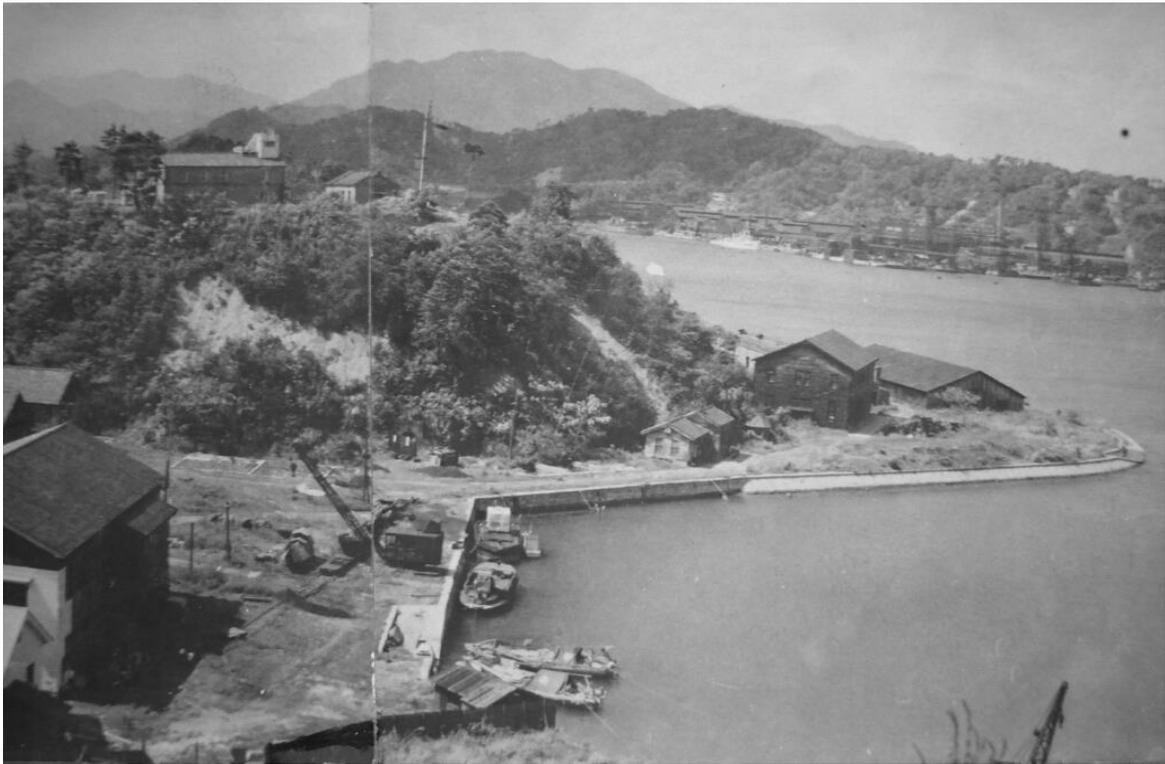
6 3号棟を東から望む（手前屋根は2号棟）



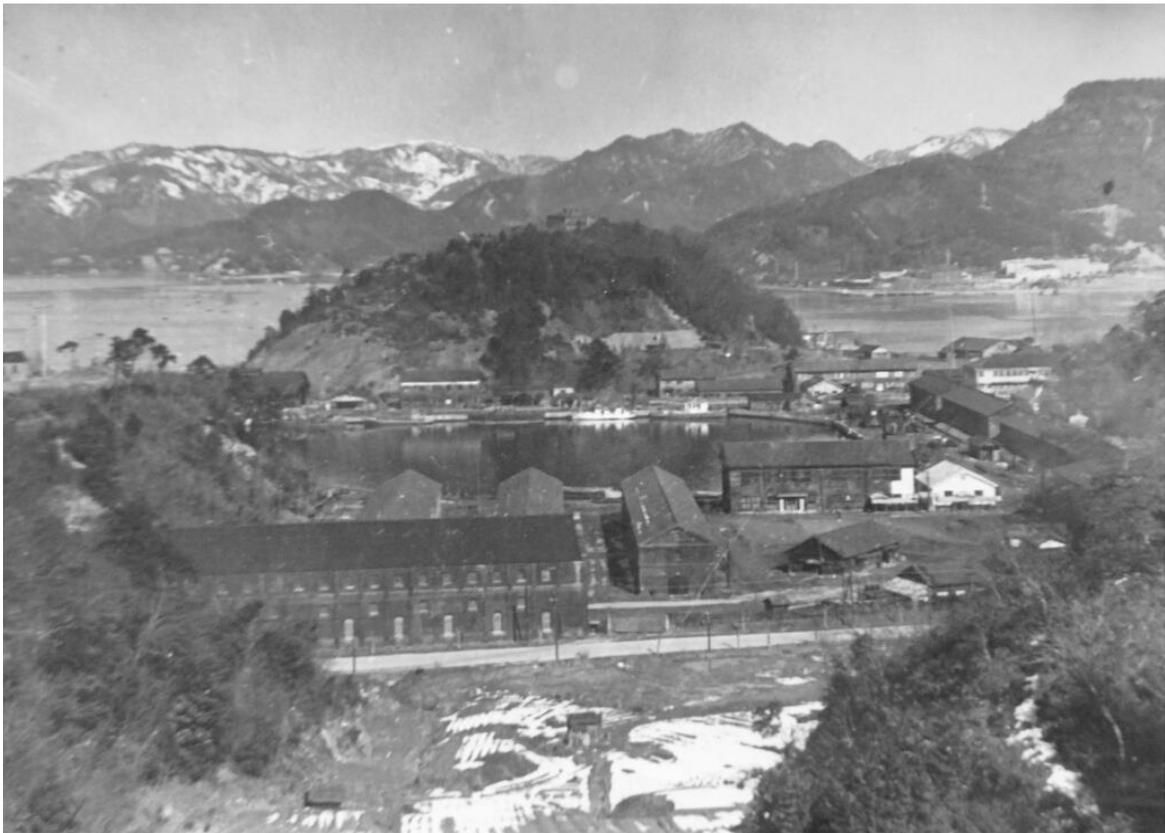
7 官舎山から西を望む（左手前は軍需部庁舎）



8 官舎山から西の海岸を望む（手前は大砲庫）撮影日：昭和27年11月15日



9 官舎山から西の海岸を望む（写真7より後年）



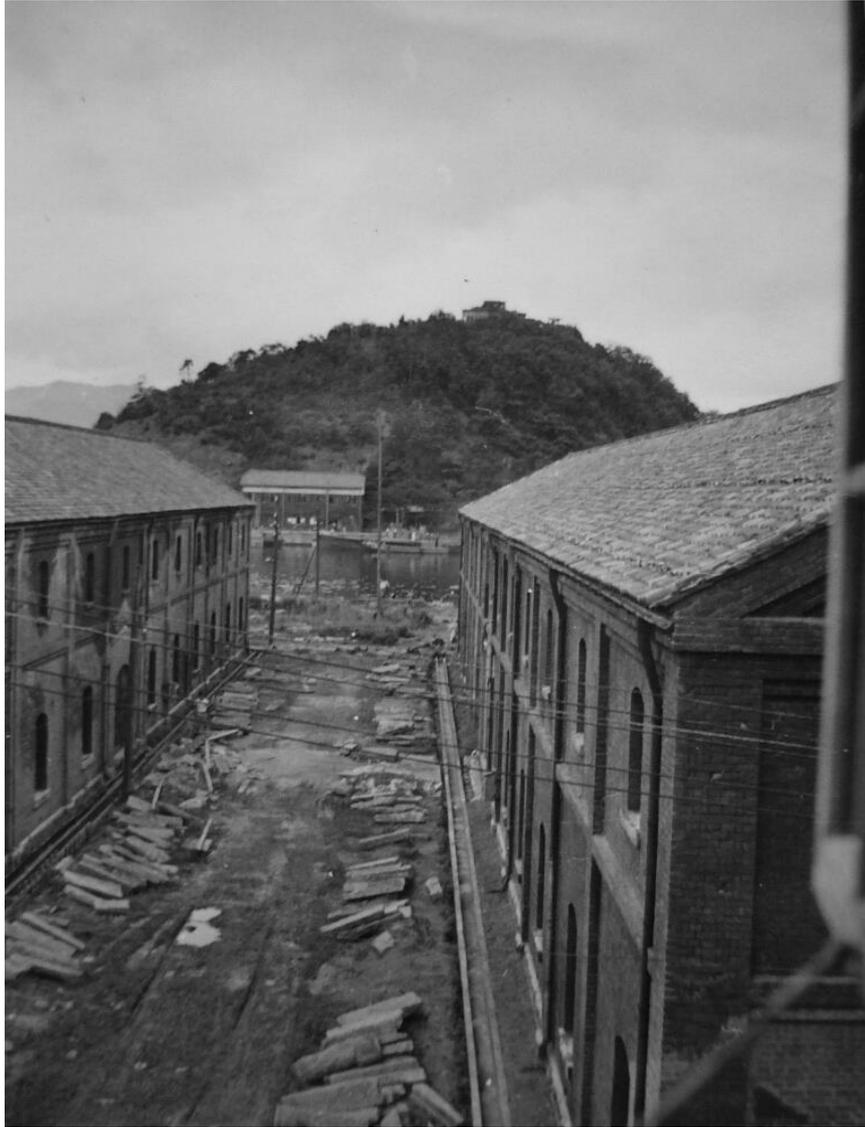
10 倉庫群遠景 南から望む（手前が5号棟）



11 2号棟を南東から望む



12 4号棟を北東から望む



13 5号棟二階から3号棟と4号棟の間を望む



14 4号棟を南西から望む



15 5号棟を東から望む



16 5号棟を西から望む



17 5号棟を西から望む



18 5号棟内部（一階）



19 5号棟内部（二階）



20 6号～8号棟を西から望む



21 6号～8号棟を南から望む



22 需品庫荷物運搬風景（西側出入口、3棟のうちどの建物かは不明）



23 旧海上気象観測所から西を望む（手前が8号棟）



24 昭和28年13号台風被災状況 6号棟南東から見る



25 昭和28年13号台風被災状況 6号棟北から見る



26 昭和28年13号台風被災状況 6号棟南東から見る



27 倉庫内部 (建物不明)



28 倉庫内部 (建物不明)



29 3号棟北側岸壁付近

※古写真2～29は舞鶴倉庫株式会社所有の写真で、撮影年代は昭和27年～30年頃とみられる。